

元「オウム」エリート弁護士も目暮らし!

懲役12年の実刑判決を受け、現在、府中刑務所に服役中の青山受刑者。あらゆる局面で教団の弁明に走った「青山弁護士」と房を隣り合わせたA氏が、衝撃の7カ月間を告白した。

私がいた東京・府中刑務所の第3区25工場に青山が来るという話を聞いたのは、昨年の5月9日でした。

工場の昼食は受刑者が倉房ごとに振り分けるんですが、その際に受刑者同士がちょっと言葉を交わすんです。まあ、連絡したいのもので、我々は「ハト」と呼んでました。その日の昼食後に休憩していると、「ハト」から「明日、青山が来るみたいです」という情報が入ったんです。

それは騒然となりましたよ。あれだけの凶悪な事件を起こした教団の顧問弁護士だった男ですからね。でも、私は本当に彼が来るとは思って

ませんでした。教団の古参幹部の多くは、一般の受刑者とは接触できない昼夜独居に入れられ、長い拘禁生活を送っていたからです。

翌5月10日、一般新入りの配役時間である午前9時を過ぎても、青山が来なかったの

で、「やっぱりな」と思っていたんです。

ところが、午前10時半頃、青山は工場に入ってきたんです。作業をしていた私の横を通る姿を見て、ひと目で青山とわかりました。

ただ、人相は、かなり変わっていましたね。頭も五厘刈りで、ずいぶん痩せて、弱々しく見えました。手と足が一

向かって伸びたりしました。他の受刑者も「ほら、始まったぞ」と見守っている感じでした。青山は「そんなことをいわれても、もう7年も前のことです」と笑っていましたが、内心、怯えているようにも見えました。

それでも彼は、脇目も振らずに、淡々と作業をこなしていましたから、心臓の強い男だな、とは思いました。

彼の置かれた境遇を思うと、男気じゃないけど、何か手助けでもしてやりたいくらい

でしたね。それで、私が担当に頼み込んで、配置換えをし

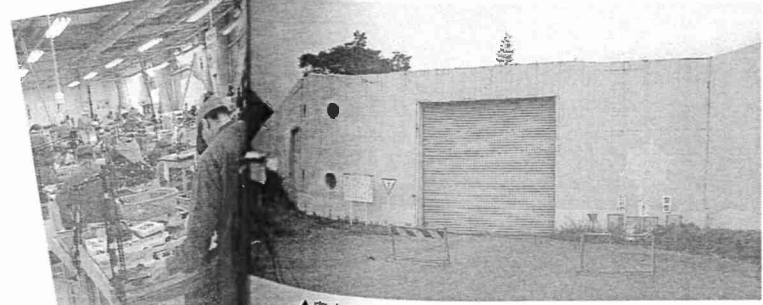
やがて青山受刑者は麻原のこと、人生観などをポツリ、ポツリ語りはじめた。

の刑が確定したのは、昨年2月。配役された府中刑務所では、昼夜独居ではなく、一般独居だった。

2週間の新人工場での教育期間を経て、青山受刑者は一般工場に移された。A氏は、そこで青山受刑者と



松本智津夫被告



▲府中刑務所と作業風景(左)

本誌独占ブチマケ!

「オウム真理教」(現・アレフ)元顧問弁護士

青山吉伸の独房は殺人現場だった



でもらったんです。一応の解決を見たのは、彼が工場に来て5日目のことでした。

この一件で、私は青山に積極的に話しかけるようになり

ました。独居房が隣り合わせだったこともあって、急速に親しくなっていたんです。

彼は当初、7年間の(拘置所での)拘禁生活で、外部の人間とも会話をしなかつた

から、言葉に詰まったり、話をしようにも声が出なかつたりという状況でした。会話が普通にできるようになるまでには、2カ月くらいはかかり

ました。

▲上祐史浩幹部とともに「教団の顔」としてメディアに露出した青山受刑者(95年4月)



95年3月に起きた地下鉄サリン事件

大きいから……」などと返してきたという。

話題は自然科学、哲学、思想家の話にまで及んだ。その内容は難解で、会話は禅問答のようだったが、青山受刑者は博識で、どんなことを聞いても答えが返ってきた。

彼は休憩時間でも、私が話しかけなければ誰とも会話をせず、ずっと椅子に座って瞑想してました。周囲がどんなに騒がしくても、同じ姿なんですよ。5時の夕食の際にラジオが聴けるんですが、彼は部屋に戻るとスイッチを切ってます。

なぜオウム事件は起きたのか

食事は、いつも残してしましました。「人間は、あまり食べないほうがいいです。成人病の予防にもなるから」といつてました。でも、たまに出るお菓子などの甘い物は、素早く食べてましたね。

青山は、独居生活でも週刊誌なんかを購入しない。7年も入っているから、たまには女の裸を見たいだろうと思っ

彼は運動中、いつも一人で太極拳とかヨガをしていました。よく覚えていたのは、運動会で彼が2000mのトラックを3周走る競走に出場したときのことです。7年もの拘禁で足腰が弱っていましたが、真剣に走っても、彼はわずか3周の間に周回遅れになつてしまいました。

「なんだ、あれが青山か」とか、野次や中傷の言葉が飛び交って、完全に見え物になつてました。戻ってきた彼は平静を装い、自分を殺している

それで生計を立てられれば」なんて話してました。さすがに、出所後の生活には不安を感じているようでした。

彼は仮釈放を期待しているフシがありました。私が「社会感情もあるから、それは無理ですよ」といっても、「それでも最後までベストは尽くす」と、いい張ってました。

「自分は、この世に何かを成すために生まれてきたことはわかるのだが、それがなんなのか、いまはわからない」という言葉が印象的でした。

一連のオウム事件から8年。「麻原は過去の人」といい放つ青山受刑者の姿もまた、犯罪史上稀に見る凶悪事件を起こしたオウム真理教の一人の姿なのか。その首謀者・松本智津夫被告（検察側が死刑求刑）の裁判は、10月30、31日に弁護側の最終弁論が行なわれ、年明けにも判決が言い渡される。



弁護士として逮捕された教団幹部に接見し「黙秘」を強要し続けた(95年10月)

「上祐と僕は仲がよかった」

出廷の前日に、彼が「明日、行きたくないんだ」というので、「ちゃんと喋って来なければダメだよ」と話したんです。すると、「もう何も喋りませんよ。私は責任は果たしたんだから」とキッパリい

ました。私が「これで、麻原の顔を見るのも最後になるの？」といったら、「最後です」と答えました。

当日、青山は朝5時半頃に起こされて、連行されて行きました。1日工場にも姿を見

せず、夜6時半頃、独居房へ帰ってきました。

この裁判に関して、後日、こんなことありました。工場の材料を包む新聞紙に、裁判の記事があつたんです。すぐに受刑者たちの間で回し読みが始まりました。守秘義務を盾に何も語らなかつたという内容に、受刑者たちは「やっぱり、青山は反省してないんだ」と口を揃えてました。

私は心配して声を掛けました。が、「心配ない」という言葉以上は語ろうとしませんでした。こんななか、青山は皆から離れる以外、術はなかつたようですね。

青山は出所後のことに話が及ぶと、「大阪にいる父親が陶芸の窯を持っているから、

受刑者の一人が「上祐とは仲が悪かったのか」と聞くと、「彼と僕は仲がよかった」と話してました。その受刑者が「もうすぐ俺は出るから、何か伝えてやろうか」というと、力なく笑つてまし

上野宮
泌尿器科・形成外科・性病科



048-642-1000

大宮区宮町2-11 ハシモビル7F

上野クリニック

札幌	011-252-6000	中央区北4条西2 アイビル 4F
仙台	022-723-3000	青葉区中央1-6-27 仙道ビル 7F
新潟	025-241-4000	新潟市花巻1-4-6 柳都ビル 2F
大宮	048-642-1000	大宮区宮町2-11 ハシモビル 7F
東京	03-3274-4000	中央区八重洲1-9-13 八重洲合同ビル 7F
上野	03-3876-7000	台東区根岸1-8-18 高松ビル 4F
渋谷	03-5784-3000	渋谷区宇田川町33-8 塚田ビル 7F
新宿	03-3343-4000	新宿区西新宿1-3-15 板木ビル 7F
横浜	045-323-5000	西区北幸2-10-50 北幸山田ビル 2F
千葉	043-221-8000	中央区新土井1-2-11 勝山ビル 6F
浜松	053-452-6000	浜松市東区140-3 イズミハママツビル 5F
名古屋	052-562-5000	中村区名駅3-26-21 新南ビル 6F
名古屋栄	052-968-7900	中区錦3-17-10 錦三(きんさん)ビル 8F
京都	075-352-5000	下京区新町通七条下ル東堀小路593 クリスタル駅前ビル1F
大阪北	06-6456-3000	北区梅田1-2 駅前第2ビル 2F
大阪南	06-6634-3000	中央区難波3-5-11 東亜ビル 8F
岡山	086-224-9000	岡山市本町6-36 第一セントラルビル 3F
広島	082-511-5000	中区緑町11-5 光和ビルビル 3F
福岡	092-415-6000	博多区博多駅前1-12-7 第13 博多ビル 2F
鹿児島	099-812-3800	鹿児島市中央町3-36 西武ビル 5F

24時間治療相談フリーダイヤル (携帯・PHS可)
0120-508-550
総合情報案内 (携帯・PHS可)
0120-087-008
ホームページアドレス
<http://www.ueno.co.jp>
携帯アドレス <http://www.ueno-c.com>